山梨 裕司 (Yuji Yamanashi)

〔原著〕

1. Tezuka, T., Inoue, A., Weatherbee, S.D., Burgess, R.W., Ueta, R. and *Yamanashi, Y. (2014). The MuSK activator agrin has a separate role essential for postnatal maintenance of neuromuscular synapses. *Proc. Natl. Acad. Sci. USA*, 111: 16556-16561.
2. Arimura, S., Okada, T., Tezuka, T., Chiyo, T., Kasahara, Y., Yoshimura, T., Motomura, M., Yoshida, N., Beeson, D., Takeda, S., and *Yamanashi, Y. (2014). DOK7 gene therapy benefits mouse models of diseases characterized by defects in the neuromuscular junction. *Science*, 345: 1505-1508.

〔著書・総説〕

1. Ueta, R. and *Yamanashi, Y. Molecular signaling and its pathogenic alterations in neuromuscular junction formation and maintenance. In “Protein modifications in pathogenic dysregulation of signaling”. Springer. In press.
2. 有村純暢、山梨裕司 (2015) 「神経筋接合部の形成不全を伴う神経筋疾患に対する新規治療概念の創出」実験医学 33: 603-606.

〔国際学会〕

1. Yamanashi, Y. “Signaling in neuromuscular junction synaptopathy”. 12th Japan-Korea Joint Symposium on Cancer and Ageing Research. Saitama, Japan. June 19-21, 2014

〔国内学会〕

該当無し

〔招待講演・セミナー〕

1. 山梨裕司、「NMJ 形成シグナルとその制御」 筋ジストロフィーモデル動物を用いた新たな治療法の開発 研究班会議 (招待発表) 平河町 東京 2014.12.03

〔研究助成金〕

1. 平成 25—26 年度 文部科学省科学研究費補助金 新学術領域 「NMJ を起点とする dying-back パソロジーの解明」 課題番号 25110711 研究代表者 山梨裕司

2. 平成 25-26 年度 文部科学省研究開発施設共用等促進費補助金 橋渡し研究加速ネットワークプログラム「NMJ 形成増強治療の創出」課題番号：東京大学 B15 研究代表者 山梨裕司
3. 平成 25—26 年度 文部科学省科学研究費補助金 新学術領域 「翻訳後修飾による Lrp4 シグナル制御機構とその破綻」課題番号 25117708 研究代表者 山梨裕司
4. 平成 26 年度 厚生労働省科学研究委託費 難治性疾患実用化研究事業「ALS に対する新規治療技術の創出」課題番号：H26-委託（難）—一般-004 研究代表者 山梨裕司
5. 平成 25 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤 A 「神経筋シナプスの形成・維持機構と筋無力症の解明」課題番号：23249013 研究代表者 山梨裕司

〔特許出願・取得状況〕

1. 特許取得

名称：

筋特異的チロシンキナーゼの活性化を制御するポリペプチドをコードする DNA

発明者：山梨裕司、他

権利者：東京医科歯科大学

日本：特許第 5339246 号

米国：US8222383

出願年月日：2007 年 4 月 26 日

2. 特許出願

筋特異的チロシンキナーゼの活性化を制御するポリペプチドをコードする DNA

発明者：山梨裕司、他

権利者：東京医科歯科大学

欧州：EP07742485.1

出願年月日：2007 年 4 月 26 日

〔その他〕

該当無し